

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4315 文化財保存活用事業										
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費									
	事業	020000 文化財保存活用事業									
事業目的						事業概要・効果					
文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。						「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ウェブサイト「信州須坂のおたから」の拡充などを通じての各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図っている。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。

指標名	デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」による文化財などの公開						
算式	累計公開件数					単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	850	900	950	880	900	
	実績	830	834	848			
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用						
最終年度目標の根拠	30年度の実績に合わせて目標値を見直した						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		9,412	8,961
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,819	17
一般財源		6,593	8,944
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	1.5	1.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,290.0	4,290.0
	嘱託職員	4,312.5	3,450.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,602.5	7,740.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		18,014.5	16,701.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	488	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼458 各種講座等での講師謝礼30
11節 需用費	2,026	文化財各種修繕1409、旧越家住宅光熱水費397、消耗品183、燃料費31、食糧費6
13節 委託費	2,641	文化財公開維持管理に係る委託872、文化財保存活用倉庫等に係る警備委託441、樹木保護看板設置等に係る委託863、除草等シルバー委託465
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,344	鎧塚まつり負担金450、文化財保存活用補助金894
その他	2,913	報酬2,168 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	545	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼510、各種講座等での講師謝礼35
11節 需用費	1,522	文化財各種修繕等632、旧越家住宅光熱水費576、消耗品130、燃料費33、食糧費12 旧越家パンフレット増刷139
13節 委託費	2,370	文化財公開維持管理に係る委託913、文化財保存活用倉庫に係る警備委託177、市指定天然記念物の養生に係る委託740 除草等シルバー委託540
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,450	文化財保存活用補助金1,000、八丁鎧塚まつり共催負担金450
その他	3,074	嘱託職員報酬2,231 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	文化財保護法に基づく国民及び市民共有の財産である文化財の保護は、市行政の責務である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	文化財の案内看板の更新など随時対応を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国名勝については別途事業のなかで国庫補助事業を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

文化財の適切な保護に努めた。適切な文化財の活用と、現況の把握により今後増大する保存コストや所有者の高齢化などに対応する必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
文化財の保存・活用を図り文化財に対する市民の理解を更に深め、今後の指定文化財等の保存と活用のあり方を検討し、歴史・文化を大切にしまちづくり（まると博物館）を進める。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
文化財は市民共有の財産であるという市民意識を深めると共に、文化財の適切な保存と積極的な活用を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	